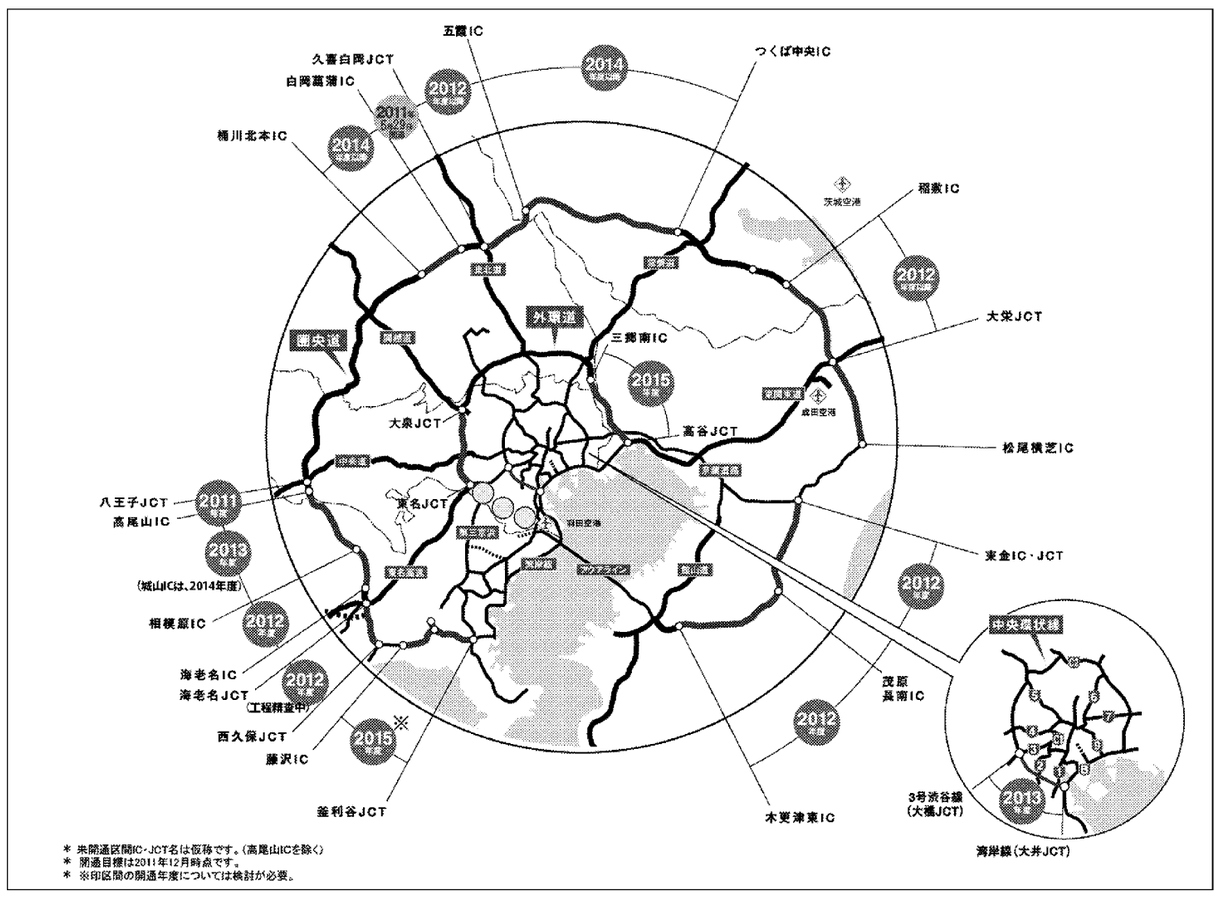
# 圏央道で経済が変わる

**東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城県の各都市を環状に結ぶ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は2015年に一部地区を除き大部分が開通する。交通インフラの充実で物流環境が大幅に向上し、地域活性化や企業のビジネスチャンス拡大が期待できる。圏央道開発進捗状況や各自治体の企業誘致戦略、進出企業など最新動向を紹介し、首都圏の将来像を展望する。**




## 千葉県

千葉県内では、県中央部を縦貫する形で圏央道の整備が進む。南は東京湾アクアラインを経て東京都心につながり、北は成田国際空港を通って茨城県に抜ける。2012年度末にほぼ全線が開通する見通しだ。

09年からの東京湾アクアラインの通行料金引き下げや成田国際空港の発着枠拡大と合わせた交通インフラの整備進展は、企業誘致に好影響をもたらしている。県の調査によると11年上期（1―6月）の県内への工場、研究所、物流施設の立地件数は前年同期比6件増の18件に増えた。現在は圏央道のインターチェンジ（IC）設置予定地の近くに新たな工業団地を作るため、検討を重ねている。

## 東京都

東京都では東名・東北道への開通に向けて青梅とあきる野、八王子西の各IC周辺で土地整備構想が立ち上がっている。みな協議の段階だが3地域の中では八王子が先行している。地権者21人による「川口土地区画整理組合設立準備会」が組織され、事業協力者にコンサルティングの昭和（東京都千代田区）が選ばれた。首都圏に食品や日用品を供給する物流拠点として整備する方針。拠点内で最終加工や組み立てを行う加工物流を集積させ雇用の受け皿とする。

2年間をかけて環境影響評価などの手続きを進め15年に造成工事に着工する予定。総事業費は約200億円で計画地面積は約173ヘクタール。緑地を多く残すため流通系用地は25・4ヘクタールで10社程度の企業を誘致する。年間10億円の税収入と1800―2500人程度の雇用効果を見込んでいる。

## 神奈川県

神奈川県内を走る圏央道は横浜環状南線（横浜市金沢区―同戸塚区）、横浜湘南道路（横浜市栄区―神奈川県藤沢市）、さがみ縦貫道路（神奈川県茅ケ崎市―相模原市緑区）からなる。現在開業している区間は、10年2月に開通したさがみ縦貫道路の海老名ジャンクション（JCT）（神奈川県海老名市）―海老名IC（同）間のみであるが、12年度中に同道路海老名JCT―相模原IC（相模原市南区）区間の開通が予定されている。

10年の一部開業では、慢性的な渋滞を引き起こしていた相模川に架かる戸沢橋（神奈川県厚木市―同海老名市）を渡ることなく、海老名ICから東名高速道路を利用することが可能となり、スムーズな物流に寄与している。また、海老名市は市内全域で圏央道開通に伴う交通アクセスの向上が期待されており、企業誘致に生かしている。

## 茨城県

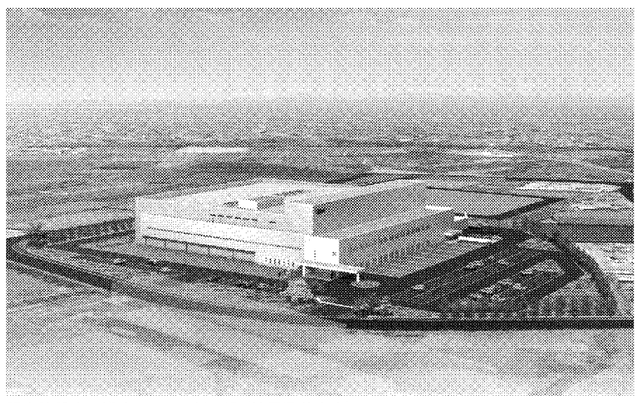
圏央道沿いに立地を決める企業も相次いでいる。日野自動車は茨城県古河市の名崎工業団地に新工場を建設中だ。12年春には海外向けの組み立て用部品の梱包工場が稼働する見通し。その後、段階的に工場建屋を建設し、20年までに大中型トラックの組み立てを東京都日野市の日野工場から移管し、生産する方針だ。同社がこの土地を選択した理由は、関東圏で約66万平方メートルの広大な面積があることや新田工場（群馬県太田市）に近く、現在利用している横浜港に近いという点がある。これに加え、建設が14年以降にずれ込んだものの、今後建設予定の圏央道の境（仮）ICへのアクセスの良さもある。

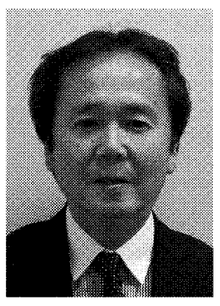
## 埼玉県

資生ケミカル（埼玉県所沢市、佐々木良逸社長、04・2944・4591）は埼玉県狭山市に新工場を建設中で12年9月稼働を目指す。圏央道狭山日高ICから約2キロメートルに位置し、敷地面積は4万6200平方メートル、延床面積は1万3000平方メートル。生産棟、事務棟、自動倉庫で構成する。業務用ヘアケア製品の研究開発、生産拠点で生産能力は現在の約2・5倍に拡大する。工場稼働に合わせて、基礎化粧品のOEM（相手先ブランド）事業も新たに始める。

交通の便が良く、工場が移転しても社員が通勤できる範囲内に位置するほか、24時間生産可能な環境にあるため、立地先に選んだ。

埼玉県内ではこのほかキッコーマンが圏央道IC近くに立地を決めたほか、流通業者の立地が目立っており、圏央道に対する産業界からの期待は大きい。


現在建設中の資生ケミカル新工場（埼玉県狭山市）


国土交通省
関東地方整備局
**池田豊人道路部長**

**―開通目標とする時期と達成度を公表していますね。**

「道路事業は不確定要素が多く、開通直前でないと公表しないのが一般的。だが、開通予定が分からないと企業は立地計画を立てられない。このため、区間ごとに開通予定年度を明示し、早い段階での立地決定につなげている。それだけに責任は重大。期待に応えるため、全力で取り組んでいる」

**―進捗状況は。**

「全長約300キロメートルの内、既に110キロメートル程を開通できた。2015年度中に、神奈川県の一部地域を除く大部分を完成させることが目標だ」

## 開通目標の明示で立地決定を後押し

「大規模な計画なので、一気に完了させるのは難しい。07年に完成した八王子ジャンクション（JCT）（東京都八王子市）―鶴ケ島JCT（埼玉県鶴ケ島市）間のように利用価値が高い区間を優先して整備している」

**―圏央道は各地の産業に多大な恩恵をもたらすと期待されています。**

「これまでは、都心を中心として放射線状に企業が立地する傾向にあった。圏央道整備で〝横につなぐ線〟ができれば、かつては立地に不向きだった地域に可能性が広がる。また、新潟県など日本海側へのアクセスが容易になるのもメリット。中国との貿易拡大に伴い、日本海側の港は重要度が増している」

**―課題は。**

「地域によって用地買収の進捗に差があるのが現実。これを受け、地方自治体に専任者を置いてもらい地権者との交渉をサポートしてもらうなど、工夫して事業を進めている。地域の実情に精通している自治体と協力することで、交渉を円滑化できる。今後も相互の連携を深めていきたい」


**帯電防止ポリマー「1SXシリーズ」新製品ラインナップ**
**表面抵抗値$10^9\Omega$／$cm^2$の帯電防止性能を発揮**

当社は、帯電防止アクリルポリマー（商品名アクリット「1SXシリーズ」）の新製品をラインナップ致しました。新製品は、電子材料分野よりのさらなる帯電防止性向上の要求に対応し、異種の導電機構をハイブリット化したポリマー開発に成功致しました。従来品と比べ、帯電防止性能を指し示す表面抵抗値が$1.0\times10^{10}\Omega$／$cm^2$から$1.0\times10^9\Omega$／$cm^2$（同社実験値）へと格段に向上しており、プラスチックの静電気除去からICパッケージ等への高機能用途まで使用範囲拡大を目指しております。

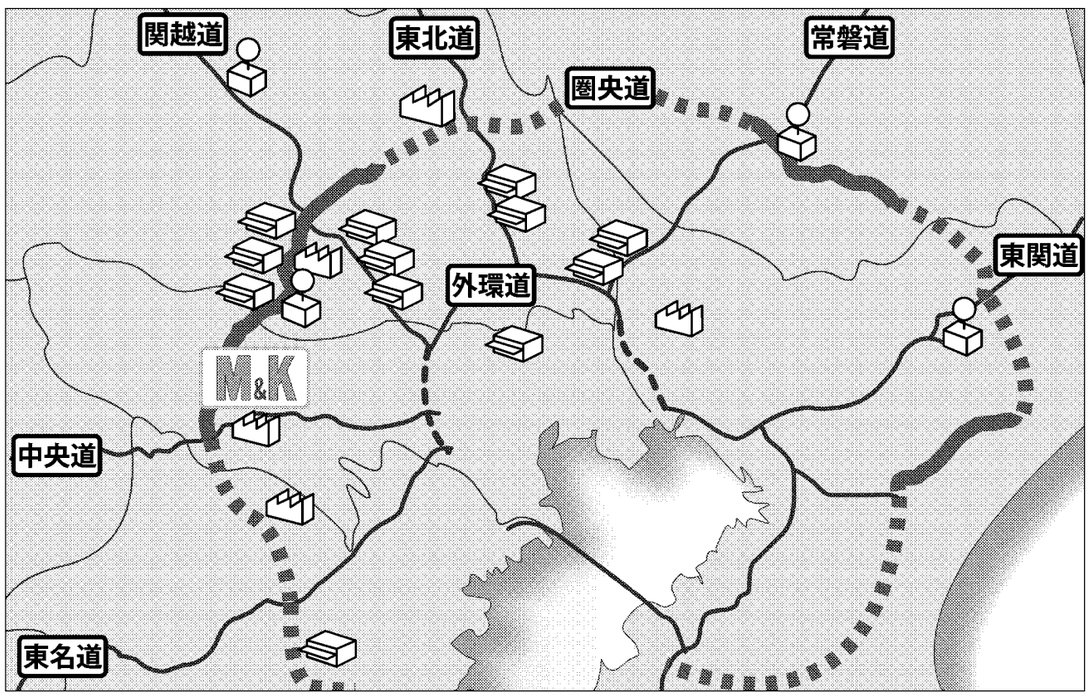
http://www.taisei-fc.co.jp/form/contact_01.html

大成ファインケミカル株式会社
http://www.taisei-fc.co.jp/

本社・工場
〒289-2505
千葉県旭市鎌数9163-19 あさひ鎌数工業団地内
TEL 0479-64-2077㈹　FAX 0479-64-2288

営業所・研究所
〒124-8535
東京都葛飾区西新小岩3-5-1
TEL 03-3691-3111㈹　FAX 03-3691-3160

**M&Kは街づくりを通じて地域経済の活性化**
**新しい文化の創造に貢献する企業です**




圏央道立地ご相談は
：物流施設開発　：工場施設開発　：商業施設開発
宅地　開発　M&K　検索

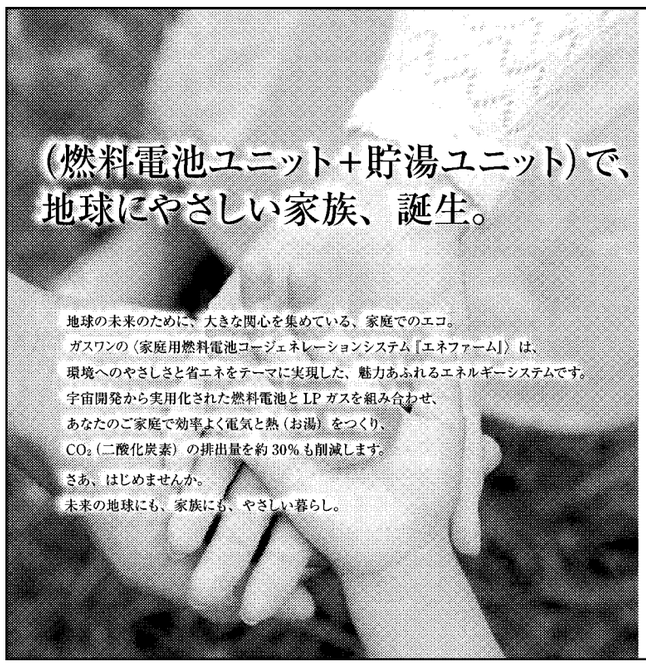
M&K 総合不動産
エム・ケー株式会社
〒191-0061　東京都日野市大坂上1-30-28　MKビル
TEL：042（589）0222（代表）　FAX：042（589）0224
URL：　http://www.mk-corp.co.jp

美しい自然のためにいま私たちができること

マイニチグループは、『人と地球空間に優しい企業活動を通じて美しい自然環境が後へと受け継がれる社会を目指す』ことを環境基本理念とします。

総合ビル管理
毎日興業株式会社
0120-156-365
http://www.mainichikogyo.co.jp

本社：浅間町オフィス　〒330-0842　さいたま市大宮区浅間町2-244-1
桜木町オフィス　〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町2-292-1
東京オフィス　〒112-0006　東京都文京区小日向4-2-8　三井生命文京小日向ビル7階




ガスワンecoプロジェクト　Gas One

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
ENE・FARM
エネファーム

エネファームとは
燃料電池実用化推進協議会によって決定された、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの統一愛称。「エネルギー」と「ファーム＝農場」の造語です。水素と酸素から電気と熱をつくるというシステムの内容が、水と大地で農作物をつくることと似ていること。さらには、自分のエネルギーは自分でつくるという、これからのエネルギーの考え方や、「家庭用燃料電池」は環境にやさしいというイメージを印象づけるために名づけられたものです。

燃料電池ユニット　貯湯ユニット

Gas One 株式会社サイサン　ガスワン サービスセンター　24時間365日受付
本　社：さいたま市大宮区桜木町1-11-5　TEL048-641-8211
東京本部：東京都港区新橋2-1-1　TEL03-3539-3130
FreeDial 0120-41-3130
E-MAIL service@saisan.co.jp　URL http://www.saisan.net
■ネットワーク：埼玉・東京・神奈川・千葉・栃木・茨城・群馬・長野・静岡・愛知・山梨・新潟・福島